

国語科学習指導案

日 時 2005年12月7日(水) 2教時
児 童 3学年3名 4学年6名 計9名
指導者

1. 単元名 まとまりやつながりに気をつけよう
2. 教材名 広い言葉、せまい言葉
3. 教材について

「言語」に関する説明文教材であり、言語への関心を高めるとともに、ものの見方、考え方を広げていくことを意図した教材である。

図や写真を手がかりとしながら、例として取り上げられている生物を表に表したり、言葉集めをしていく中で、文章の内容を具体的に理解させ、発表交流する中で考えを深めさせていきたい。

4. 児童の実態

(1) 全体像

- ・楽しく音読することができる。
- ・学習課題に進んで取り組むが、読み取りが浅かったり、主体的に学習を進めることができないときもある。
- ・発問に対し、考えを進んで発表するが、正確さにはやや欠けることがある。
- ・友だちの発表のよさに気づくことはできるが、練り合い高めるまでには至っていない状況にある。

(2) 個人の実態と手立て(省略)

1. 単元名 すじ道を立てて考えよう
2. 教材名 アーチ橋のしくみ
3. 教材について

「自分の知らない、または自分とは異なるものの考え方に気づく」とともに、二つの「疑問」を軸に展開される筆者の論の進め方をとらえ、物事には様々な見方、とらえ方があることに改めて気づかせることをねらいとしている教材である。また、接続詞・副詞・指示語が要所に適切に用いられ、文どうし、段落どうしの関係を明確にしている。これらの言葉にも注目させながら、筋道を立てて考えさせ、気づいた自分の考えを正確に表現できるようにさせたい。

4. 児童の実態

(1) 全体像

- ・全体的に音読を好み、読み取ったことを表現できるが、的確とはいえない児童もいる。
- ・間接指導時や記述を主とする学習で、問題に取り組み始めるのに時間がかかったり、主体的に解決学習を進めることができない児童がいる。
- ・発問に対し進んで発表し、お互いの考えの違いやよさに気づくことができる

(2) 個人の実態と手立て(省略)

5. 教材の目標 「広い言葉、せまい言葉」

「言語」に関する説明文学習であり、言語への関心を高めるとともにものの見方、考え方を広げていくことを意図した教材である。

図や写真を手がかりとしながら、例として取り上げられているさまざまな生物を表に表し、上位概念、下位概念について実感を持って判断できるようにさせたい。また、発表や話し合い活動を位置付け、考えを広げたり深めさせたい。

間接指導の際はワークシートを学習過程に取り入れ、主体的に問題を解決していけるようにさせたい。

言葉どうしの意味の広さの関係について関心を持つようとしている。

文章の中からや自分で集めた「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解して、発表や話し合いをする

「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解し言葉を集めて説明の文章を書いている段落ごとに中心になる語や文をおさえて言葉の関係を正確に読んでいる。
文章全体における段落の役割を理解している。

6. 評価規準について

言葉どうしの意味の広さの関係について関心を持つようとしている。

文章の中からや自分で集めた「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解して、発表や話し合いをしている

「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解し言葉を集めて説明の文章を書いている段落ごとに中心になる語や文をおさえて言葉の関係を正確に読んでいる。
文章全体における段落の役割を理解している。

5. 教材の目標 「アーチ橋の仕組み」

アーチ橋の仕組みをとらえるために、中心となる語や文をおさえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むことを意図した教材である。

筆者の問いかけに対し、興味・関心を持ち、主体的に読みを解き、成就感を味あわせるために、実験を取り入れ理解の定着を図りたい。

また、ワークシートを手立とし考えを文章や言葉で正確に表現できるようにさせていきたい。

アーチ橋の仕組みに興味関心を持ち、進んで中心をおさえ読む。

アーチ橋の仕組みがわかるように友だちに説明する。

読み取ったことを整理してノートにメモする。

段落ごとに書かれていることをおさえて読む。

文中に出てくる地名や難語句を辞書などで調べる。

6. 評価規準について

アーチ橋の仕組みに興味関心を持ち、進んで中心をおさえ読んでいる。

アーチ橋の仕組みがわかるように友だちに説明している。

読み取ったことを整理してノートにメモしている。

段落ごとに書かれていることをおさえて読んでいる

文中に出てくる地名や難語句を辞書などで調べている。

7. 指導計画 (10時間)

関心・意欲・態度 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言語事項

3学年指導内容	評価規準と方法			4学年指導内容	評価規準と方法
			1	・単元の学習内容を知る ・新出漢字や意味のわからない言葉を調べる	自分のめあてをもって、学習に取り組んでいる。 新出漢字や文中に出てくる地名や難語句を辞書などで調べている。
			2	・全文を通読し、初発の感想を発表する。 ・橋について知っていることを発表する	アーチ橋の仕組みに興味関心を持ち、進んで中心をおさえ読んでいる。 知っていることを説明することができる。
			3	・「アーチ橋のしくみ」について興味や関心を持ったことを発表し合う	アーチ橋の仕組みがわかるように友だちに説明している。
・単元の学習内容を知る ・新出漢字や意味のわからない言葉を調べる	自分のめあてをもって、学習に取り組んでいる 新出漢字や調べた言葉を書いている。	1	4	・大段落(一)を読み、一番目の「ぎもん」を解くための実験をわかりやすく発表し合う。	読み取ったことを整理してノートにメモしている。 副詞・接続詞のはたらきに気づくことができる。
・全文を音読し、初発の感想を発表する。	言葉どうしの意味の広さの関係について関心をもっている	2	5	・橋の実験を行い、叙述内容を確認める	アーチが橋の仕組みになぜ使われているかを理解している。
・大段落(一)を読み、「トンボ」についての「広い言葉、せまい言葉」の関係を理解する	「トンボ」について自分で集めた「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解して、発表している 段落ごとに中心になる語や文をおさえ言葉の関係を正確に読んでいる。	3	6	・大段落(二)を読み、二番目の「ぎもん」の答えをわかりやすく説明し合う	段落に書かれていることをおさえて読んでいる。 石をアーチの形に組み合わせる方法をわかりやすく説明している。

・大段落(二)を読み、「こん虫」についての「広い言葉、せまい言葉」の関係を理解する	「こん虫」について自分で集めた「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解して、発表している。 段落ごとに中心になる語や文をおさえて言葉の関係を正確に読んでいる	4 本時	7 本時	・大段落(三)を読み、昔と現代のアーチ橋についてわかったことを発表し合う	昔と現代のアーチ橋についてわかったことを発表している。 昔の知恵が今も生きていることに気づくことができる。
・大段落(三)を読み、「動物」についての「広い言葉、せまい言葉」の関係を理解する	「動物」について自分で集めた「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解して、発表や話し合いをしている。 段落ごとに中心になる語や文をおさえて言葉の関係を正確に読んでいる。	5	8	・三つの大きなまとまりに、小見出しをつけて、全体の文章構成をとらえる。	全体の文章構成がわかる。
・大段落(四)を読み、「生物」についての「広い言葉、せまい言葉」の関係を理解し、学習したことを整理する	文章全体における段落の役割を理解している。	6	9	・筆者のものの考え方について感想をまとめる	学習感想を単元名を意識しながらまとめることができる。
		7	10	・選択式で課題に取り組む	選んだ課題に積極的に取り組んでいる。
・「なかまの言葉集めゲーム」「言葉の木」「言葉のポスター」のどれかを選び、学習を進める	選んだ課題に積極的に取り組んでいる。 ふさわしい言葉を書いている。	8			
		9			
・取り組んだことを発表する。	わかりやすく説明することができる。	10			

8. 本時案

(1) 本時について

第3学年 本時は、トンボやセミ、チョウなどを例に、上位概念、下位概念について初歩的な理解をさせることを目的としている。
前時の「トンボ」より分類が多くなったが、セミ、チョウの言葉より「広い言葉」に気づかせたい。

課題提示時は直接指導とし、間接指導において主体的に問題を解決していけるよう手立てとしてワークシートを使用する。

また、発表時は正確に考えを表現し、お互いの考えを広げたり深めることができるように直接指導とした。

第4学年 本時は説明文の最後の段落であり、今までの学習をおさえた上で、昔と現代のアーチ橋の違いや同じところを理解させたい。

また、重さを支えるアーチの仕組みそのものは同じであり、昔から受け継がれてきた人々の知恵は、今もこうして生きていることに気づくようにさせたい。

間接指導において課題を把握し、主体的に問題を解決していけるようにワークシートを使用し、理解への手立てとした。個々の学習状況に対応して指導内容や方法を改善するために、評価カードも導入した。

上学年が問題解決学習を自主的に進め、その形態が下学年に浸透するように指導計画のずらしを試みた。

(2) 本時の目標

第3学年

「こん虫」について自分で集めた「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解して、発表する。

段落ごとに中心になる語や文をおさえて言葉の関係を正確に読んでいる。

第4学年

昔と現代のアーチ橋についてわかったことをまとめ、発表する。

新出漢字を読むことができる

昔の知恵が生きていることに気づくことができる。

(3)本時の展開

(関心・意欲・態度 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言語事項)

第3学年

第4学年

評価のポイント*留意点	学習内容と児童の活動	段階	直間	教師のかかわり	直間	段階	学習内容と児童の活動	評価のポイント*留意点
<p>*個別学習の進め方の確認</p> <p>*写真や絵を参考にさせる</p>	<p>・前時の学習内容を振り返る</p> <p>・本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>トンボより広い言葉を見つけよう</p> </div> <p>・大段落(二)を音読する</p> <p>リレー読み</p>			<p>・前時の学習内容の確認</p> <p>・本時の学習課題を把握させる</p> <p>問題1 (3学年)</p> <p>・三枚の写真に名前を見つける</p> <p>・ヒグラシやモンシロチョウの「広い言葉」を見つける</p> <p>・二つの問いに対する答えを考える</p>			<p>漢字プリント</p>	<p>新出漢字を読むことができる</p> <p>*早く終わった場合は書きの練習を指示</p>
<p>*ワークシートを使用</p>	<p>・手がかりとなるところにサイドラインを引く</p> <p>・三枚の写真に名前を書く</p> <p>・ヒグラシやチョウの「広い言葉」を見つけ、シートにまとめる</p> <p>・二つの問いに対する答えを考える</p>			<p>・本時の学習課題を把握させる</p> <p>問題1 (4学年)</p> <p>・昔と現代の橋の例を書く</p> <p>・昔の橋の写真を見て気づいたこと</p>			<p>・本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>昔と今の「アーチ橋」をくらべて、わかることを発表しよう</p> </div> <p>・大段落(三)を音読する</p> <p>リレー読み</p>	<p>*個別学習の進め方の確認</p>
<p>段落ごとに中心になる語や文をおさえて言葉の関係を正確に読んでいる</p>	<p>・話あったことを発表する</p>			<p>・確認し、板書する</p> <p>問題2 (3学年)</p> <p>・トンボ・セミ・チョウの体のつくりで同じところを見つける</p>			<p>・昔と現代の橋の例を書く</p> <p>・昔の橋の写真を見て気づいたことをメモする</p>	<p>*ワークシートを使用</p>

				・トンボ・セミ・チョウより「広い言葉」を考える				
*いろいろな言葉のワークシートの準備	・手がかりとなるところにサイドラインを引く ・トンボ・セミ・チョウの体のつくりで同じことは何か ・トンボ・セミ・チョウより「広い言葉」を考える			問題2 (4学年) ・昔と現代の橋のちがいと同じところを見つける ・著者の言いたかったこと			・昔と現代の橋の例を発表する 昔の橋 現代の橋	
「こん虫」について自分で集めた「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解し、発表している	・まとめたことを発表する ・まとめの音読をする リレー読み ・自己評価カードに記入する			・確認し、学習のまとめをする ・次時予告 ・学習の振り返りをさせる			・手がかりとなるところにサイドラインを引く ・昔と現代の橋のちがいを調べて書く ・著者の言いたかったことを書く	*ワークシートを使用
	・漢字プリント			・確認し、学習のまとめをする ・次時予告 ・学習の振り返りをさせる			・まとめたことを発表する ・まとめの音読をする ・自己評価カードに記入する	昔の「アーチ橋」についてわかったことを発表している 昔の知恵が生きていることに気づくことができる

(4) 本時の評価

第3学年

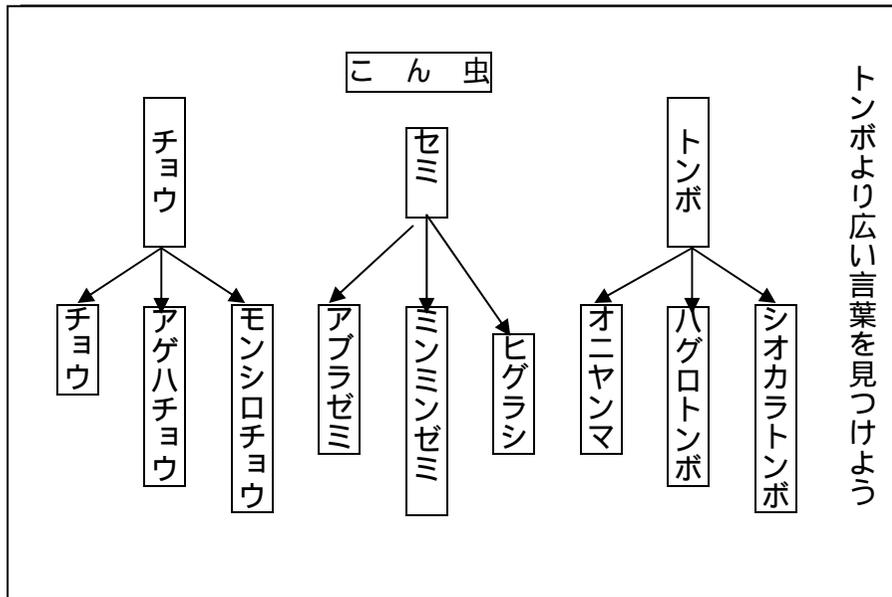
「こん虫」について自分で集めた「広い言葉」「せまい言葉」の関係を理解して、発表することができたか。
段落ごとに中心になる語や文をおさえて言葉の関係を正確に読んでいたか。

第4学年

昔と現代のアーチ橋についてわかったことをまとめ、発表することができたか。 新出漢字を読むことができたか。
昔の知恵が生きていることに気づくことができたか。

(5) 板書計画

第3学年



昔と現代のアーチ橋をくらべ

ちがつところ

材料 今 鉄やコンクリート
昔 石

形 今 アーチの形はいろいろ
昔 アーチは橋の下側

大きさ 今 アーチは大きい
昔 アーチは小さい

同じところ

アーチが重さをささえる

筆者の言いたかったこと

昔の知恵が生きている

自己評価カード

学習日	学習を振り返って	とてもよいA	よいB	だいたいよいC	できなかったD
12 /	自分の考えを発表することができた	A	B	C	D
	先生や友達の発表をしっかり聞いたか。	A	B	C	D
	内容を考えながら読むことができたか。	A	B	C	D
	自分の考えを書くことができたか。	A	B	C	D
	話し合いで詩文の意見を発表できたか。	A	B	C	D
今日の感想					
先生から					